

平成 26 年 12 月 12 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
三菱 UFJ 信託銀行株式会社
三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社
三菱 UFJ 投信株式会社
国際投信投資顧問株式会社

三菱 UFJ 投信株式会社および国際投信投資顧問株式会社の合併について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（取締役社長 ^{ひらの のぶゆき} 平野 信行）と、その子会社である三菱 UFJ 信託銀行株式会社（取締役社長 ^{わかばやし たつお} 若林 辰雄）、三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社（取締役社長 ^{ながおか たかし} 長岡 孝）は、グループの資産運用ビジネスの強化のための新たな組織体制の構築について検討してまいりました。今般、その一環として、グループの資産運用会社である三菱 UFJ 投信株式会社（取締役社長 ^{かながみ たかし} 金上 孝）と国際投信投資顧問株式会社（取締役社長 ^{たなか ひろゆき} 田中 裕之）が「合併に関する覚書」を締結し、合併に向けた協議・準備を開始しました。

1. 合併の狙い

「貯蓄から投資へ」の流れを受けて投信市場の規模拡大が期待されるなか、資産運用会社にはさらなる運用力の強化に加え、受託者責任をはじめとした運用者としての質的な向上が強く求められています。これらの環境変化に柔軟に対応するため、三菱 UFJ 投信および国際投信投資顧問（以下「両投信会社」）の合併を行うこととしたものです。

合併後の新会社は、両投信会社の強みを活かしつつ、運用力の強化と経営の効率化を図り、お客さまにご満足いただける、より良質で付加価値の高い資産運用サービスを提供できる体制を構築してまいります。

2. 合併後の資産運用サービス

合併後の新会社は、両投信会社が培ってきたノウハウを結集し、お客さまの幅広いニーズにお応えできるよう商品ラインアップの拡充を行うとともに、お客さまの利便性向上に努め、サービスの充実を図ってまいります。

なお、現在両投信会社が提供している資産運用サービスについては、合併後の新会社が引き継ぎ、業務を継続いたします。

3. 合併の時期

両投信会社の合併は、平成 27 年 7 月 1 日を目途としています。

なお、合併後の新会社の社名、出資構成、人事などの詳細については、今後検討を進めてまいりますので、決定次第お知らせいたします。

三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、合併後の新会社の良質かつ高度な商品・サービスと、グループの有する優良な営業基盤や運用インフラ・リソースとの相乗効果をグループ一体となって一層発揮させていくことで、資産運用業務におけるトップクラスの地位を確固たるものとしてまいります。

以 上

【ご参考】合併当事会社の概要

(平成 26 年 9 月末現在)

商号	三菱 UFJ 投信株式会社		国際投信投資顧問株式会社	
事業内容	投資信託委託業、投資顧問業		投資信託委託業、投資顧問業	
設立年月	昭和 60 年 8 月		昭和 58 年 3 月	
本店所在地	東京都千代田区		東京都千代田区	
代表者	取締役社長 金上 孝		取締役社長 田中 裕之	
発行済株式総数	124,098 株		12,998 株	
資本金	20 億円		26 億 8 千万円	
投資信託残高	公募 6 兆 1,297 億円	公募 6 兆 1,297 億円	公募 3 兆 4,819 億円	公募 3 兆 4,819 億円
	私募 2 兆 4,742 億円	私募 2 兆 4,742 億円	私募 273 億円	私募 273 億円
	合計 8 兆 6,040 億円	合計 8 兆 6,040 億円	合計 3 兆 5,092 億円	合計 3 兆 5,092 億円
従業員数	442 名		329 名	
大株主 (出資比率)	三菱 UFJ 信託銀行 (50%)	三菱 UFJ 証券ホールディングス (82%)	三菱 UFJ 証券ホールディングス (82%)	三菱 UFJ 証券ホールディングス (82%)
	三菱 UFJ フィナンシャル・グループ (25%)	三菱東京 UFJ 銀行 (10%)	三菱東京 UFJ 銀行 (10%)	三菱東京 UFJ 銀行 (10%)
	三菱東京 UFJ 銀行 (25%)	三菱 UFJ 信託銀行 (7%)	三菱 UFJ 信託銀行 (7%)	三菱 UFJ 信託銀行 (7%)
業績推移	25 年 3 月期	26 年 3 月期	25 年 3 月期	26 年 3 月期
営業収益	485.6 億円	536.6 億円	342.1 億円	368.0 億円
経常利益	84.8 億円	98.7 億円	86.7 億円	87.8 億円
当期利益	54.0 億円	67.3 億円	53.2 億円	58.1 億円